

自治体学会事業部会プロジェクト

第1回自治立志塾 in 東北「その仕事、私がやりましょう☆」

8月24日（土）～25日（日）

東北自治総合研修センター（宮城県富谷町成田2丁目22-1）

自治体職員 高野誠鮮氏

自治体職員（元） 中島興世氏

自治体職員 生水裕美氏



ファシリテーター・コーディネーター 法政大学 廣瀬克哉氏

【ご案内】

少子、高齢、過疎…。私たちの暮らす国は、「先進国でありながら衰退していく」という局面に立たされています。国家的危機にも関わらず、その解決策を明確に示した処方箋は、いま、どこにも存在しません。

でも、本当にそうなのでしょうか。

諦めるしかないと思いこんでいた地域課題に果敢に挑み、疲弊する地域社会に新たな可能性の息吹を生み出した人がいます。

その人たちの職業は「自治体職員」です。

小さな地域社会をフィールドとする彼らは如何にして課題を見つけ、如何にして課題解決のロードマップをつくり、如何にして実践へと移していったのか。そして何よりも、如何にして「初めの一歩」を踏み出していったのか。

これからの地域社会を担う自治体職員、公務員を志望する学生を対象に、中山間地の限界集落問題、子どもたちの問題、多重債務者問題といった極めて深刻な問題に真正面から立ち向かい解決していった先達から学び、講師と受講者が対話を重ねながら、「自治体職員のミッション」を探っていきます。



**講師 石川県羽咋市教育委員会文化財室長
兼羽咋市歴史民俗資料館館長 高野誠鮮氏**

昭和 59 年羽咋市役所臨時職員に。NASA やロシア宇宙局から本物の帰還カプセルなどを買いつけ開設した、宇宙科学博物館「コスモアイル羽咋」が話題。その後正職員になり、平成 17 年 過疎高齢化が進む同市神子原地区の再生プロジェクトに着手。神子原米のブランド化、I ターン若者の誘致、農家経営の直売所「神子の里」の開設による農家の収益の向上などにより、4 年で「限界集落」の脱却に成功、「スーパー公務員」と呼ばれ話題に。著書：『ローマ法王に米を食べさせた男 過疎の村を救ったスーパー公務員は何をしたか？』

講師 北海道恵庭市 中島興世氏

20 年以上にわたり自主研究グループ・恵庭市役所まちづくり研究会を主宰。西尾勝先生による 10 時間のまちづくりセミナーなど多くのセミナー・シンポジウム、海外を含む先進地の視察を繰り返した。市民主体のまちづくりに取り組み、日本一のガーデニングのまちづくり、日本最初の地産地消運動を展開した。特筆すべきは乳児期からの読み聞かせ運動に取り組み、日本で最も優れた子ども読書のまちづくりを成し遂げ、子どもの問題を解決する道筋を示したことである。自治体職員の存在意義に新たな光を当てたといえる。自治体学会代表運営委員。



**講師 滋賀県野洲市市民部市民生活相談課専門員
生水裕美氏**

平成 11 年より野洲町(平成 16 年合併により野洲市)の消費生活相談員(非常勤嘱託職員)。その後野洲市職員採用試験を受け平成 20 年より現職。多重債務等の生活困窮者の生活再建を支援。消費者庁設置法案の国会審議の参考人として消費者問題や今後の消費者行政のあり方について、内閣府の「社会保障改革に関する集中検討会議」では一般委員として貧困・格差問題について提言。現在は、厚生労働省の生活支援戦略を検討する生活困窮自立促進プロセス構築モデル事業統括委員会、家計再建支援モデル調査研究事業の委員。



ファシリテーター・コーディネーター**法政大学教授 廣瀬克哉氏**
法政大学法学部政治学科教授。自治体議会改革フォーラムの呼びかけ人代表、議員力検定協会の共同代表、自治体学会代表運営委員。

○日程（予定）

- 8月24日（土） 10：00 受付開始
10：15 宿泊施設から説明
10：30 開会／講師3名から講演「初めの一步、今、この先」／
講師と受講者による意見交換企画
18：00～20：00 交流会（食堂）
- 8月25日（日） 09：00 受講者参加型パネルディスカッションなど
14：40 閉会

- 参加費 受講料 一般の方6000円、自治体学会会員4000円、学生2000円
（この機会にぜひ自治体学会に入会下さい→自治体学会入会金7500円）
宿泊費（個室1泊、交流会費、昼2食・朝1食込み）1万円
宿泊しない場合 交流会費5千円、昼食1回600円
※ 参加費は、セミナー当日に受付でお支払い下さい。

○申込方法

1. 参加申込書は自治体学会HPに掲載しますので、ダウンロードの上作成して下さい。
⇒自治体学会HP <http://www.jigaku.org/>
2. 参加申込書に必要事項記入し、E-mailに添付、またはFAXでお申し込みください。
⇒E-mail jigakutohoku@yahoo.co.jp / Fax 03-6427-6685
3. 申込締め切り 8月3日（土）*先着順で定員（120名）に達した場合も締め切ります。

○アクセス

- 1 バス利用の場合
仙台市営地下鉄南北線「泉中央駅」バスプール5番乗り場から、宮城交通バス「新富谷ガーデンシティ」方面行（内回り・外回りどちらでも可）または吉岡行きに乗車（約20分）、「自治研修センター前」で下車し、徒歩約5分で到着。バスの片道料金は350円。（5番乗り場のご注意）
（下車後、東北自治総合研修センターへは、バスの進行方向とは逆にお進みください。）
 - 2 タクシー利用の場合
仙台市営地下鉄「泉中央駅」から約15分、料金は約2,000円
 - 3 クルマ利用の場合
東北自動車道をご利用の場合は、泉ICで降り、国道4号を北上（大崎市・盛岡方面）し、イオン富谷ショッピングセンターのある交差点を右折し、4つ目の信号機を左折してください。「東北自治総合研修センター」の案内標識を確認してください。
その他の方面から来館される場合は、「新富谷ガーデンシティ」内に案内標識を設置していますので、確認してください。
- 詳しくは <http://www.thk-jc.or.jp/institution/access.htm> をご覧ください。

○問い合わせ先

東北自治体学会事務局（矢野） E-mail jigakutohoku@yahoo.co.jp

自治体学会事務局 TEL/FAX 03-6427-6685

〒104-0043 東京都中央区湊2-16-15 ライオンズマンション鉄砲洲第3-202

特定非営利活動法人自治創造コンソーシアム 内

○主催 東北自治体学会・自治体学会

○後援 青森県市長会・青森県町村会・岩手県・岩手県市長会・岩手県町村会・宮城県・
宮城県市長会・宮城県町村会・宮城県市町村職員研修所・秋田県市長会・秋田県町村会・
山形県市長会・山形県町村会・福島県・福島県市長会・福島県町村会・
（公財）ふくしま自治研修センター・朝日新聞仙台総局・河北新報社

自治立志塾 in 東北 参加申込書【申込期限：8月3日】

Email:jigakutohoku@yahoo.co.jp/Fax:03-6427-6685

フリガナ		参加者名簿への掲載可否	可・否
氏名			
所属			
住所	〒 ー		
電話		F A X	
E-mail			
性別 (宿泊者必須)	男性・女性	年代	10・20・30・40・50・60・70歳代 (交流企画の参考にします)
会員種別	自治体学会会員・非会員		
入会(年7,500円) (非会員の方)	申し込みます・申し込みません		
参加費 (該当するところを○ で囲んで下さい。)	一般の方 6,000円	自治体学会会員 4,000円	学生 2,000円 (受付で学生証提示)
宿泊 (宿泊費・昼2食・ 朝食・交流会費込み 10,000円)	申し込みます・申し込みません		
交流会(5,000円) (宿泊申込以外の方)	参加します・参加しません		
昼食(600円) (宿泊申込以外の方)	8月24日 申し込みます		・ 申し込みません
	8月25日 申し込みます		・ 申し込みません
参加費等合計額	円 ※上記申込内容の合計額を記入して下さい。		
※質問事項、自身の課題等についてご記入ください。			

※住所・氏名・電話・FAX・電子メールなど個人情報は、当企画に関するご連絡以外には使用しません。

※参加者名簿の掲載を可とした場合の掲載事項は、氏名・所属・住所(市町村名まで)です。